

令和7年9月8日

市政記者クラブ 様

消防局総務部施設課
担当：小栗、福本(Tel972-3517)

土壌汚染の報告について

下記の施設における増築その他工事において土壌調査を行ったところ、土壌汚染がありましたのでお知らせします。

記

- 1 施設名 中川消防署
- 2 所在地 名古屋市中川区高畑一丁目224番地

3 汚染の状況

項目※1	汚染物質	基準超えの濃度	基準に対する倍率	基準	超過地点数／調査地点数※2
土壌溶出量調査	ヒ素及びその化合物	0.017 mg/L	1.7 倍	0.01 mg/L 以下	1/1

※1 土壌溶出量は土壌に含まれる汚染物質が地下水に溶け出す量を示します。

※2 調査対象地における平面図上で、試料採取によって評価した地点数を示します。

4 土壌汚染への対応

環境局と協議して早急に詳細調査を行い、その結果を踏まえ必要な対策を実施していきます。

〈 参 考 〉 基準を超過した物質の毒性について

【ヒ素及びその化合物】

急性毒性：70～200 mg の摂取により、嘔吐、下痢、脱力感、筋肉けいれん等が現れ、昏睡後死亡する。

*70 mg は、今回の土壌溶出量の汚染物質濃度 (0.017 mg/L) では、水 4.1kL に含まれる量になります。

慢性毒性：3～6 mg/L の量の長期摂取によっても起こり、一般的には目・鼻・喉等の粘膜炎症に続き、筋肉の弱化、食欲減退が起こる。

発がん性：国際がん研究機関（IARC）は、ヒ素及びヒ素化合物をグループ1（人に対して発がん性がある）に分類している。

出典「改訂4版水道水質基準ガイドブック」「化学物質ファクトシート（環境省ウェブサイト）」
（下線部分は、名古屋市において挿入しました。）